



自衛隊栃木地方協力本部

栃木地本公式キャラクター&ロゴマーク表彰式を開催

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 梶 陸佐）は3月28日、本部庁舎にて「栃木地本デザインコンテスト表彰式」を開催した。

令和3年度は栃木地本にとって、地方連絡部時代を含めて創立65周年の節目の年となる。この機会に県民の皆様に対し、より一層自衛隊を身近に感じてもらいたいという思いから、栃木地本公式キャラクター及びロゴマークを一般公募した。その結果、キャラクター部門では宇都宮文星女子高等学校2年の大貫真緒さん、ロゴマーク部門では県内在住の寺坂千尋さんの作品が、それぞれの部門で最優秀賞に選ばれた。

公式キャラクターは栃木県名産の苺や日光東照宮の三猿をモチーフに、公式ロゴマークは自然豊かな栃木県を表現するため、日光白根山や男体山、鬼怒川を栃木地方協力本部の文字に見立てて描かれている。受賞した大貫さんは「栃木県がイメージできて自衛隊に親しみを持ってもらえるように、できるだけかわいいキャラクターとなるように作成した」と笑顔で語り、寺坂さんは「栃木に住んで9年になるが、栃木県の魅力を表現しなかった」と作品に込めた想いを述べた。表彰式の様子は下野新聞にも掲載され、広く知られる機会となった。なお、キャラクターの名前は「栃ママ3兄弟りく・かい・いく」とし、ロゴマークとあわせて栃木地本の広報ポスターや広報グッズ等で活用していく。

栃木地本は「2つの公式デザインを通じ、自衛隊の広報活動の更なる活性化を図っていく」としている。

